

施策 1 区民との協働と地域の支え合いを推進する
取組項目 3 地域課題を自ら解決する力を引き出す

[事業番号 8]

地域福祉コーディネーターによる地域福祉の基盤づくり

1 事業内容

区では、地域での支え合いの力を高めることを目的として練馬区社会福祉協議会に地域福祉コーディネーターを配置し、地域福祉推進の基盤となる地域支援ネットワークの構築を進めている。

地域福祉コーディネーターは、高齢者を支えるボランティアの育成や地域のネットワークづくりを行う生活支援コーディネーターの役割も担いながら、住民同士の支え合い、助け合いの活動が活性化するよう、様々な支援を行う。

また、地域の課題等を見つけて発信し、地域づくりに関わる住民や地域活動団体に「地域福祉協働推進員（通称・ネリーズ）」の意義を伝え、地域の課題を解決するためにできることを実践し行動しているキーパーソンとも協働して、地域づくりを進める。

支援が必要な方がいた場合には、各地域の担当者が相談に応じるほか、必要に応じて適切な関係機関につなぐ。

2 令和 6 年度末目標

地域福祉協働推進員（ネリーズ）登録人数 730 人

3 令和 2 年度の取組

- ・ 「ネリーズ」の登録人数は、令和 2 年度末で 678 人となった。オンラインを活用しての懇談会等を実施し、ネリーズ同士の交流や地域活動に関する情報提供を行った。
- ・ 各地区の民生児童委員協議会に地域福祉コーディネーターが出席し、各拠点における取り組みや事例の報告を行った。また、町会・自治会等の地域住民との連携・協力を図った。

4 令和 3 年度の取組

- ・ ネリーズの活動を広報誌に掲載し、取組を周知するとともに、練馬・光が丘・石神井・大泉の 4 地区で、オンラインを活用してネリーズ懇談会などを実施し、ネリーズ同士の交流や情報の提供等に取り組み、登録者を維持していく。
- ・ 各地区の民生児童委員協議会や関係機関の各種会議に地域福祉コーディネーターが出席し、地域のネットワークの構築に取り組む。